



第23回 俳句甲子園

(全国高等学校俳句選手権大会)

実施報告書

主催: NPO法人俳句甲子園実行委員会 共催: 松山市、愛媛県

後援: 文部科学省、(公社)全国高等学校文化連盟 ほか





高校生にしか語れない俳句がある

<俳句甲子園の目的>

全国各地から俳句という文学を介して高校生たちが松山に集い、日本語を操る能力の向上、将来的な日本俳句文学の興隆のみならず、高校生相互の文化的交流、更には大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育ぶことを目的としています。

<開催趣旨>

誰でもふと口ずさむことができ、フランス人に「生きる芸術」と呼ばれた俳句。P. ピカソが「広々とした自由」と呼んだ俳句。現在全国の俳句愛好者は500万人を超え、いまや「俳句の時代」といわれるほど、この小さな詩形は、日本人の日々の暮らしに溶け込んでいます。とりわけ愛媛県では、近世から階層を問わずあらゆる分野の人々が俳諧に親しんできました。中世には神仏に捧げる法楽連歌が多く残されており、明治以降には俳句を近代の詩として再生させた正岡子規をはじめとして、高浜虚子、河東碧梧桐、中村草田男、石田波郷、芝不器男、富沢赤黄男など、さまざまな個性に彩られ

た俳人を輩出した伝統的風土があります。

俳句は、現代を生きる人々の心をく五・七・五という十七音に凝縮されたわずかな言葉の空間に解き放ち、またひとつの作品が読者との間にさまざまな読み方の回路を開き、いろいろに読むことができるという自在な活力にも満ちています。各地から俳句に親しむ高校生が一堂に参集し、俳句を楽しみ、交流することは、本来「座」に集う人々の共同の文芸であった俳句に相応しく、そこから生まれる人間的な交流は、高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。

また、次代を担う若者たちの新鮮な発想と創造性、しなやかで軽やかな感受性は、この小さな詩の未知の魅力を我々の前に開いてくれることでしょう。

以上のように<俳句甲子園>は俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。

(1997年当時作成)

＜大会運営＞

大会の運営はNPO法人を中心としながら、大会を卒業したOBOGや市民で構成される150名以上のボランティア、地元松山市の職員が連携しながら実施します。また文部科学省や、全国高等学校文化連盟などの後援もいただき、高校生の良き学びの場、新たな交流や成長の場となるよう配慮した運営をしています。

＜大会スケジュール＞

6月に地方大会、8月に全国大会を行います。参加可能な地方大会会場が近くに無い場合等は投句審査（句のみの書類選考）にてエントリーする事も可能です。

＜第23回大会について＞

新型コロナウイルス感染防止のため、会場に集まる大会形式を変更し、地方大会・全国大会共に、投句審査で実施しました。全国82チームの中から、投句審査で選ばれた32チームが全国大会へ進出。4つの兼題に挑み、提出された640句全てを投句審査し、団体賞・個人賞が決定しました。

8月23日（日）には、松山市総合コミュニティ

センターで審査結果発表と表彰式を行い、YouTubeライブで配信しました。また、表彰式終了後、リモートでのエキシビジョンマッチを実施しました。

＜兼題＞

◆地方大会

「麗らか」「蜂」「チューリップ」

◆全国大会

「冷奴」「蚯蚓」「緑蔭」「朝」

◆エキシビジョンマッチ

「麗らか」「蜂」「チューリップ」

※地方大会と同じ兼題

＜審査員長＞

高野 ムツオ（小熊座主宰）／西村 和子（知音代表）／中原 道夫（銀化主宰）／正木 ゆう子（紫薇同人）／星野 高士（玉藻主宰）／小澤 實（澤主宰）／夏井 いつき（いつき組組長）／岸本 尚毅（天為、秀）／関 悦史（翻車魚同人）／鵜田 智哉（オルガン）／阪西 敦子（ホトトギス、円虹）／高柳 克弘（鷹編集長）／神野 紗希（現代俳句協会青年部長）



<エントリーチーム>

29都道府県66校82チームからのエントリーがあり、20都道府県28校32チームが全国大会へ出場しました(うち3校3チームが全国大会初出場)。(★は全国大会出場チーム)

都道府県名	チーム名	エントリー回数
北海道	北海道札幌西高等学校★	2
	北海道小樽潮陵高等学校	7
	北海道旭川東高等学校A	18
	北海道旭川東高等学校B	18
青森県	弘前学院聖愛高等学校★	14
	青森県立八戸高等学校	初
	青森県立弘前高等学校★	6
岩手県	岩手県立水沢高等学校A★	16
	岩手県立水沢高等学校B★	16
	岩手県立盛岡第一高等学校	9
秋田県	秋田県立秋田北高等学校★	2
	秋田県立秋田西高等学校A	8
	秋田県立秋田西高等学校B	8
山形県	山形県立山形南高等学校	4
福島県	福島県立須賀川高等学校	2
	福島県立須賀川桐陽高等学校A	2
	福島県立須賀川桐陽高等学校B	2
	福島県立磐城高等学校	7
茨城県	茨城県立結城第二高等学校★	9
群馬県	群馬県立高崎高等学校★	3
	群馬県立太田高等学校	8
埼玉県	星野高等学校A★	4
	星野高等学校B★	4
東京都	開成高等学校A★	20
	開成高等学校B★	20
	海城高等学校A★	7
	海城高等学校B★	7
	立教池袋高等学校★	10
神奈川県	神奈川県立津久井高等学校★	7
	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	4
	慶應義塾湘南藤沢高等部	8
	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	7
石川県	石川県立金沢錦丘高等学校A	6
	石川県立金沢錦丘高等学校B★	6
長野県	長野県屋代高等学校★	7
	長野清泉女学院高等学校	4
岐阜県	岐阜県立飛騨神岡高等学校	15
	鶯谷高等学校	初
愛知県	名古屋高等学校★	9
	愛知県立岡崎東高等学校★	5
	愛知県立幸田高等学校A★	19
	愛知県立幸田高等学校B	19

都道府県名	チーム名	エントリー回数
三重県	高田高等学校★	18
滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	4
京都府	洛星高等学校	2
	洛南高等学校A★	18
	洛南高等学校B	18
	洛南高等学校C	18
大阪府	大阪桐蔭高等学校★	5
兵庫県	灘高等学校	7
和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	5
	智辯学園和歌山高等学校	2
島根県	島根県立平田高等学校	6
	島根県立三刀屋高等学校A	6
	島根県立三刀屋高等学校B	6
岡山県	就実高等学校	13
	岡山県立岡山朝日高等学校★	10
	岡山県立新見高等学校	2
山口県	山口県立徳山高等学校★	7
	山口県立萩高等学校	3
	山口県立高森高等学校	3
愛媛県	愛媛県立新居浜西高等学校A	9
	愛媛県立新居浜西高等学校B	9
	愛媛県立松山中央高等学校	15
	愛媛県立松山東高等学校★	22
	愛媛県立宇和島東高等学校A	18
	愛媛県立宇和島東高等学校B	18
	聖カタリナ学園高等学校	5
	済美平成中等教育学校	16
	愛光高等学校	16
	愛媛県立今治西高等学校★	15
	済美高等学校	14
	愛媛県立今治西高等学校伯方分校A★	21
	愛媛県立今治西高等学校伯方分校B	21
	愛媛県立松山西中等教育学校A★	12
	愛媛県立松山西中等教育学校B	12
	新田青雲中等教育学校	8
長崎県	長崎県立佐世保東翔高等学校	3
熊本県	熊本信愛女学院高等学校★	20
宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校★	6
沖縄県	興南高等学校	5
	沖縄県立首里高等学校	13

<第23回大会 選考方法>

【地方大会 選考方法】

- ・選考委員は、審査員長13名
 - ・各選考委員の評価点を集計し、上位32チームを決定
- ①チーム単位（5名全員の句）での審査とし、AからEまでの5段階評価（チーム単位での順位はつけない）
- ②A、B、C評価については、各10チームを選出
- ③D評価は、最大5チーム以内で選出（D評価については、選出チーム無しでも良い）

評価	評価の考え方
A	上位第1位から第10位のランクに位置付けることができると評価されるチーム
B	評価Aのチームに続いて、上位第11位から第20位のランクに位置付けることができると評価されるチーム
C	評価Bのチームに続いて、上位第21位から第30位のランクに位置付けることができると評価されるチーム
D	評価Cのチームと比べて、その評価は拮抗しているが、おしくも評価Cに入らなかったチーム
E	上記の評価AからDのいずれにも該当しないチーム

【全国大会 選考方法】

- ・選考委員は、審査員長13名
 - ・各選考委員の評価を集計し、団体賞、個人賞を決定。
- ただし、評価点等で優劣つけがたい場合は、選考委員が協議、決定する。
- ・各選考委員に、学校名、生徒の名前を削除した「オーダー用紙」を配布し、チームとしての評価ポイント（AからC）、特選句（10句）を選出

評価	評価の考え方
A	上位第1番目から第4番目のランクに位置付けることができると評価されるチーム
B	評価Aのチームと比べて、その評価は拮抗しているが、おしくも評価Aに入らなかったチーム
C	その他のチームは全て評価Cとする

【個人表彰】	評価の仕方
特選10句 および その上位3句	①全国大会の投句審査に提出された全ての句（640句）の中から、特選句として、10句選定。 ②その特選句10句の中から、審査員長が自らの冠とする賞を授けても良いと評価する句を、評価の高い順に3句選定

全国大会



北海道札幌西高等学校
(北海道)



弘前学院聖愛高等学校
(青森県)



青森県立弘前高等学校
(青森県)



岩手県立水沢高等学校A
(岩手県)



星野高等学校A
(埼玉県)



星野高等学校B
(埼玉県)



開成高等学校A
(東京都)



開成高等学校B
(東京都)



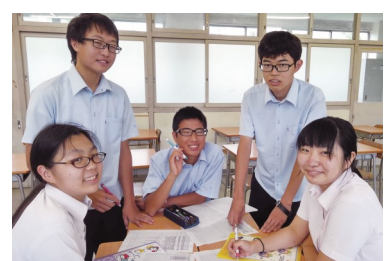
石川県立金沢錦丘高等学校
(石川県)



長野県屋代高等学校
(長野県)



名古屋高等学校
(愛知県)



愛知県立岡崎東高等学校
(愛知県)



岡山県立岡山朝日高等学校
(岡山県)



山口県立徳山高等学校
(山口県)



愛媛県立松山東高等学校
(愛媛県)



愛媛県立今治西高等学校
(愛媛県)



出場チーム一覧



岩手県立水沢高等学校B
(岩手県)



秋田県立秋田北高等学校
(秋田県)



茨城県立結城第二高等学校
(茨城県)



群馬県立高崎高等学校
(群馬県)



海城高等学校A
(東京都)



海城高等学校B
(東京都)



立教池袋高等学校
(東京都)



神奈川県立津久井高等学校
(神奈川県)



愛知県立幸田高等学校
(愛知県)



高田高等学校
(三重県)



洛南高等学校
(京都府)



大阪桐蔭高等学校
(大阪府)



愛媛県立今治西高等学校
伯方分校(愛媛県)



愛媛県立松山西中等教育学校
(愛媛県)



熊本信愛女学院高等学校
(熊本県)



宮崎県立宮崎西高等学校
(宮崎県)

OBOG会

俳句甲子園経験者の有志によりOBOG会が結成され、俳句甲子園を支えています。地方大会や全国大会は、大勢のOBOGのボランティアスタッフが運営に携わり、この報告書にも彼らが撮影した写真が多く使われています。

毎年多くのOBOGが「俳句甲子園をもっと盛り上げていこう」、「俳句甲子園に恩返しを」など、様々な想いで応援してくれています。



※第22回大会時

審査結果発表・表彰式

<大会結果>

優 勝：開成高等学校 A（東京都）

準優勝：洛南高等学校（京都府）

3 位：神奈川県立津久井高等学校（神奈川県）

愛媛県立松山東高等学校（愛媛県）



<審査員長総評(抜粋)>

星野 高士 先生

第23回大会が開催できたことに感謝申し上げます。

リモートで繋いだ方、それ以外の方たちからも、俳句に対する想いがひしひしと伝わってきました。会場に集まれないということも一つの時代だと感じ、力強さを繋いでいくという意味で非常に意義があったのではないかと思います。

私としては皆に最優秀賞をあげたいくらいの想いがあります。

俳句を愛してください。そして、長く続けてください。来年必ず会いましょう。

個人最優秀賞は「文部科学大臣賞」

太陽に近き嘴蚯蚓を垂れ



<審査員長講評(抜粋)>

小澤 實 先生

蚯蚓は住むべき土から離れ、太陽に乾かされつつも、いつ殺されてしまうのかもしれない状況にあってもなお、生きようとしていると思われます。この蚯蚓は現代の僕らではないかと感じました。時代の気分というものの核心を掴んで、私たちを励ましてくれる句を作ってくれたということに感激しています。



エキシビジョンマッチ



<エキシビジョンマッチ>

表彰式終了後、愛媛県立松山東高等学校対開成高等学校のリモートでのエキシビジョンマッチを実施。「チューリップ」「蜂」「麗らか」を兼題とし、先鋒・中堅・大将の三句勝負を行いました。作品は、地方大会に提出した俳句の中から一句ずつ、この試合のために選出しました。今大会唯一の試合となりましたが、結果は2対1で開成高等学校の勝利。

<選手の感想>

松山東高等学校 山根くん（2年）「全国のさまざまな大会が中止される中、開催され感謝しています。来年こそは全国大会が松山で開催できれば良いと思います。」

開成高等学校 谷田部くん（1年）「コロナの影響があっても俳句甲子園ができるという感動を覚えました。インターネットが発達しても俳句を続けられるのだなと感慨に浸っています。」

最優秀賞（文部科学大臣賞）

太陽に近き嘴蚯蚓を垂れ

海城高等学校B

田村龍太郎

〈優秀賞〉

曲がるだけ曲がりて蚯蚓干からびぬ

名古屋高等学校

三宅航暉

犬呼んで朝がはじまる夏休

神奈川県立
津久井高等学校

一条勇人

無言を以て緑蔭をわかちあふ

愛媛県立
松山東高等学校

伊藤恵一

朝風に挑む鴉の子の震へ

岡山県立
岡山朝日高等学校

金子遼耶

土砂降りには蚯蚓を踏んでよりのこと

開成高等学校A

重田渉

朝刊の文字つややかに原爆忌

熊本信愛女学院
高等学校

安永早春香

いっぽんの肉ゆたかなる蚯蚓かな

開成高等学校A

佐々木拓実

緑蔭や絵の具付きたる友の頬

山口県立
徳山高等学校

尾上純玲

口笛が消えゆく孤島冷奴

愛媛県立今治西
高等学校伯方分校

塩見将門

大蚯蚓大縄跳びの「はいっ」の声

宮崎県立
宮崎西高等学校

谷知機

寝る父と半分残る冷奴

秋田県立
秋田北高等学校

外館翔海

箸が冷奴通つて皿の音

海城高等学校A

江島朋之

朝つばめ私は有限かつ無限

高田高等学校

市川侑奈

〈入選〉

緑蔭のフラクタルあいつにも彼女

弘前学院聖愛高等学校

岩淵莞人

緑蔭や肩車より落ちし靴

青森県立弘前高等学校

本多佳穂

ミサイルの通過や冷奴の艶

岩手県立水沢高等学校A

里館園子

鼻の奥に血のにおいあり朝曇

岩手県立水沢高等学校A

佐藤琳利子

プリンより冷奴が好き君が好き

茨城県立結城第二高等学校

石橋英里香

冷奴心が抜けたやうな月

群馬県立高崎高等学校

本城翔音

抗議デモ二つに割れて大蚯蚓

星野高等学校A

小島穂乃花

縞蚯蚓つややかアンドロメダ銀河

星野高等学校B

田中望結

王朝は柱を残し夏の蝶

開成高等学校A

谷田部慶

遠き日の緑蔭にまた入りけり

海城高等学校A

田村祐人

彗星は水のあかるさ冷奴

立教池袋高等学校

丹羽隆樹

緑蔭や現地語で虎といふ街

立教池袋高等学校

野口大清

活きの良い方を蚯蚓の貌とする

石川県立金沢錦丘高等学校

野口結加

水道水ぬるき下宿や冷奴

長野県屋代高等学校

小山紘輝

担任も来て緑蔭の満たさるゝ

洛南高等学校

竹内優

緑蔭や人より犬の老いやすく

洛南高等学校

奥井健太

秒針に力むところや冷奴

大阪桐蔭高等学校

寺農七海

傷口を洗ひ蚯蚓に継ぎ目かな

山口県立徳山高等学校

清水瞳美

朝東風や白波尖りきつてゐる

山口県立徳山高等学校

岡崎鼓子

空返事また空返事冷奴

愛媛県立松山東高等学校

宇都宮駿介



俳句を愛する気持ちは「俳都松山」に・・・

第24回大会へ

＜お問い合わせ先＞

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 事務局

〒790-0014 愛媛県松山市柳井町2丁目21-3 グリーンフィールドヒラオカ1F

TEL : 089-943-1512 (平日13:00~17:00)

E-mail info@haikukoushien.com

又は 松山市 坂の上の雲まちづくり部 文化・ことば課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

TEL 089-948-6952 FAX 089-934-1913

E-mail bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp